

様式2

環境保全行動 報告提出書
自動車使用管理実施

2025年7月30日

(宛先) 札幌市長

提出者 住 所	〒003-0831 札幌市白石区菊水2条1丁目8番21号
氏 名	株式会社北海電工
(代表者名)	取締役社長 藪下 裕己

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例 第13条第4項の規定により、環境保全行動
第23条第3項の規定により、自動車使用管理実施
報告書を提出します。

報告期間		2024年4月1日～2025年3月31日			
事業の規模	従業員数	908	人	原油換算した 燃料・熱・電気の合計量	1059.8
	使用床面積	26118	m ²		k1
	事業所数	5	事業所	自動車使用台数	358
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素 換算排出量)	エネルギー起源CO ₂ 2600 t-CO ₂	メタン t-CO ₂	N ₂ O t-CO ₂	HFC t-CO ₂
		非エネルギー起源CO ₂	PFC	SF ₆	NF ₃
	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	
報告書の担当部署		担当部署名			
		担当者氏名			
		電話/FAX			
		電子メールアドレス			
計画書提出根拠		条例第13条（環境保全行動計画）		<input checked="" type="checkbox"/> 第1項 <input type="checkbox"/> 第3項	
		条例第23条（自動車使用管理計画）		<input checked="" type="checkbox"/> 第1項 <input type="checkbox"/> 第2項	
計画期間		2022年4月1日～2025年3月31日			
環境保全行動 自動車使用管理実施 報告書		別添のとおり			
備考					

- 注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の3月31日現在で記入してください。
- 2 事業所数は、報告年度に係る年度の3月31日現在の札幌市内事業所数を記入してください。
- 3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。
- 4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則第4条に規定する方法により行ってください。
- 5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第5項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。
- 6 □のある欄には、該当する□内にレ印を記入してください。
- 備考 この様式により難いときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】 2022年4月1日～2025年3月31日

【報告期間】
2024年4月1日～2025年3月31日

行動目標	基準数値	目標削減率	2022年度結果			2023年度結果			2024年度結果		
			実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果
自動車の使用に伴う二酸化炭素排出量の低減	1190	2	1160	3	○	1125.1	5	○	1140	4	○
	t-co2	%	t-co2	%		t-co2	%		t-co2	%	
電力の使用に伴う二酸化炭素排出量の低減	1930	1	1620	16	○	1560	19	○	1460	24	○
	t-co2	%	t-co2	%		t-co2	%		t-co2	%	
		%		%			%			%	
		%		%			%			%	
		%		%			%			%	
		%		%			%			%	

- 注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。
2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。
○：目標削減率を達成
△：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成
×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理由
自動車の使用に伴う二酸化炭素排出量の低減	○	計画的な車両入れ替え、エコカー導入による燃費向上
電力の使用に伴う二酸化炭素排出量の低減	○	継続的な照明の自動消灯・事務所省エネ対策による使用量削減